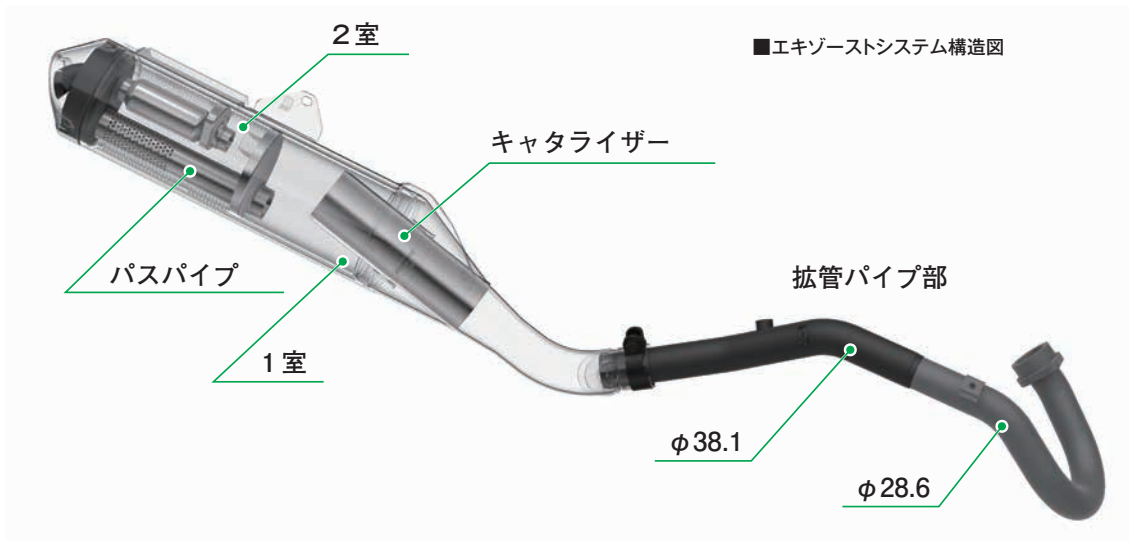


### ●マフラー、エキパイ (CRF250L、CRF250Mと共通)

エキパイ管径をφ28.6mmのストレート構造から、φ28.6mmからφ38.1mmへの拡管構造に変更することで、ピーク出力の向上に加え、力強い低速トルクを実現しました。

マフラーは3室構造から2室構造とし、パスパイプ開放部を最適な多孔構造にするなど内部構造を一新し、歯切れの良いパルス感を演出しました。また、同時に小型軽量化も達成しています。



### ●環境性能 (CRF250L、CRF250Mと共通)

排出ガス対応では、エキパイO<sub>2</sub>センサー、マフラー内2段キャタライザー、キャニスター、ECUなど各ユニットの最適な配置を考慮した浄化システムとし、国内の最新の排出ガス規制に対応しています。

■排出ガス浄化システム配置図

